

平成14年7月3日
中国電力株式会社

一時保管中の柱上用変圧器から流出した絶縁油の回収について

7月2日、(株)中電工鳥取営業所(鳥取市西品治816-1)に一時保管していた撤去済の柱上用変圧器の底が腐食し、中にある絶縁油(約37リットル)が構内の排水溝を通り、近くの狐川に流入するという事故が発生いたしました。

流出した絶縁油については、国土交通省鳥取工事事務所がオイルフェンスを張って、拡散を防ぐとともに、中国電力・中電工・中電プラント社員がオイルマット600枚を使用して、回収作業を行い、本日14時をもってほぼ回収いたしました。このため、環境面への影響はないものと考えています。

今後も引き続き、現地を調査のうえ、必要な対策を行います。

なお、この絶縁油には極微量のPCBが混入している可能性もあることから、念のため流出した絶縁油の分析調査を行います。

このたびは、地域の皆さまおよび関係者の皆さまにご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

1. 回収日時 平成14年7月2日(火)17時40分～25時
平成14年7月3日(水) 8時～14時(完了)
2. 場所 鳥取市田園町田園橋下流付近
3. 作業内容 川面上に浮く絶縁油を吸着性のオイルマットにより吸収させ、空容器に回収。
4. 作業人員 延べ33名
5. その他 PCB混入の可能性について
・過去、変圧器の絶縁油検査を行ったところ、(注)ND～10ppm程度の極微量のPCBが検出された経緯から分析調査を行うものです。

(注)ND:分析装置の定量下限値(0.05ppm)未満のこと。

以上